大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年11月分【埋立中調査①】)

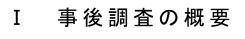
【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・騒音・振動・交通量】

国土交通省 近畿地方整備局 大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事後調査の概要	
	1. 調査概要	I - 1
	2. 工事の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	I - 12
	3. 調査結果の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	I - 13
Π	事後調査結果	
	1. 水質 (廃棄物処分場周辺) ······	II- 1
	2. 大気質 (廃棄物搬入施設周辺) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	II- 7
	3. 騒音・振動(廃棄物搬入施設周辺)	II- 16
	4. 交通量(廃棄物搬入施設周辺)	II - 24



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 11 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成27年11月)

廃棄物処分場の埋立に係る調査

表-1(1) 大気質

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂)	1点(南港中央公園局)	11月1日~30日	通年連続
窒素酸化物(NO ₂ 、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向・風速			

表-1(2) 水質 /一般項目

以 1(c) 小夏 / 放張日					
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度		
●生活環境項目	5点×2層	11月5日	1回/月		
水素イオン濃度(pH)	[1, 2, 3, 4, 5]				
化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m				
溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m				
全窒素(T-N)					
全燐(T-P)					
●その他の項目					
透明度					
水温					
塩分					
濁度					
浮遊物質量(SS)					
クロロフィルa					

表-1(3) 水質 /放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度	放流水 1点	11月1日~30日	連続測定
水温			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
浮遊物質量(SS)	放流水 1点	11月5,10,17,24日	1回/週
不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点		
水素イオン濃度(pH)	(処理原水)	11月5日	1回/月
化学的酸素要求量(COD)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			4回/年
n−ヘキサン抽出物質			(5月、8月、11月、2月)
大腸菌群数			
透明度	護岸外周 3点×2層	11月5日	4回/年
水温	(護岸から30m)		(5月、8月、11月、2月)
塩分	[19, 20, 21]		
浮遊物質量(SS)	上層:海面下1m		
不揮発性浮遊物質量(FSS)	下層:海底面上2m		
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
n-ヘキサン抽出物質	n-^キサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		

表-1(4) 水質 /放流水、内水及び護岸外周(2)

要 支持日	1(4) 水貝/放流水、内水及び		
調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等	放流水 1点	11月5日	放流水、内水
カドミウム	内 水 1点		4回/年
全シアン	(処理原水)		(5月、8月、11月、2月)
鉛	護岸外周 3点×2層		
六価クロム	(護岸から30m)		護岸外周
砒素	[19, 20, 21]		4回/年
総水銀	上層:海面下1m		(5月、8月、11月、2月)
アルキル水銀	下層:海底面上2m		
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
フェノール類			
銅			
亜鉛			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
陰イオン界面活性剤			
有機燐			
ほう素			
ふっ素			
アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物)			
1,4-ジオキサン			
塩化ビニルモノマー	塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン		
1,2-ジクロロエチレン	は護岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水	放流水 4回/年
		11月5日	(5月、8月、11月、2月)
		内水	内 水 2回/年
		_	(8月、2月)
		 護岸外周	護岸外周 1回/年
		_	(8月)

表-1(5) 水質 /処分場周辺

調査項目 調査範囲・地点 調査期間等 調査頻度 透明度 6点(護岸から500m)×2層 11月5日 4回/年 水温 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 (5月、8月、11月、2) 塩分 上層:海面下1m 下層:海底面上2m 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	
水温 塩分 温度 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD)	月)
塩分 上層:海面下1m 下層:海底面上2m ド層:海底面上2m ド層:海底面上2m ド層:海底面上2m 化学的酸素要求量(COD)	月)
濁度	
浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD)	
不揮発性浮遊物質量(FSS)水素イオン濃度(pH)化学的酸素要求量(COD)	
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD)	
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD)	
化学的酸素要求量(COD)	
	ĺ
全窒素(T-N)	
全媒(T-P)	
クロロフィルa	
プロロンイバル	
大陽菌群数 大陽菌群数は上層のみ調査 の日本代表	
カドミウム	
(8月、2月)	
六価クロム	
<u> </u>	
総水銀	
アルキル水銀	
PCB	
ジクロロメタン	
四塩化炭素	
1,2-ジクロロエタン	
1,1-ジクロロエチレン	
シス-1,2-ジクロロエチレン	
1,1,1-トリクロロエタン	
1,1,2-トリクロロエタン	
トリクロロエチレン	
テトラクロロエチレン –	
1,3-ジクロロプロペン	
チウラム	
シマジン	
チオベンカルブ	
ベンゼン	
セレン	
可能性窒素及び亜硝酸性窒素	
フェノール類	
一 五 公 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
溶解性鉄	
溶解性マンガン	
全クロム	
陰イオン界面活性剤	
有機燐	
1,4-ジオキサン	

表-1(6) 底質 /一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成	4点(表層土)		2回/年
含水率	[2, 3, 4, 5]		(8月、2月)
強熱減量			
化学的酸素要求量(COD)			
硫化物		_	
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
酸化還元電位			

表-1(7) 底質 /処分場周辺

表-1(7) 底質 /処分場周辺 翻本頂日 調本版中 調本版中				
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度	
●一般項目	1点(表層土)		2回/年	
粒度組成 金化素	[15]		(8月、2月)	
含水率				
強熱減量				
化学的酸素要求量(COD)				
硫化物				
全窒素(T-N)				
全燐(T-P)				
酸化還元電位				
●有害項目<含有量試験>				
アルキル水銀				
総水銀				
カドミウム				
鉛				
有機燐				
六価クロム				
砒素				
シアン				
PCB				
銅				
亜鉛		_		
ふっ化物				
トリクロロエチレン				
テトラクロロエチレン				
ベリリウム				
クロム				
ニッケル				
バナジウム				
有機塩素化合物				
ジクロロメタン				
四塩化炭素				
1,2-ジクロロエタン				
1,1-ジクロロエチレン				
シス-1,2-ジクロロエチレン				
1,1,1-トリクロロエタン				
1,1,2-トリクロロエタン				
1,3-ジクロロプロペン				
チウラム				
シマジン				
チオベンカルブ				
ベンゼン				
セレン				

表-1(8) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	_	2回/年
低周波空気振動音圧レベル			(4月、10月)

表-1(9) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年
臭気指数		_	(8月、9月)
特定悪臭物質濃度			

表-1(10) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度	
鳥類の生息状況	4点	_	4回/年(2年おきに実施)	
	[a, b, c, d]		(5月、6月、8月、2月)	

廃棄物搬入施設に係る調査

表-1(11) 廃棄物搬入施設

	調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂)	搬入ルート沿道		1週間×4回/年
	窒素酸化物(NO2、NO)	大阪基地 : 2点	11月6日~12日	(5月、8月、11月、2月)
	浮遊粒子状物質(SPM)	[No.2、3]		
	風向・風速	堺基地:2点	11月14日~20日	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点	11月13日~19日	
		[No.A、B]		
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点	11月10日	(操業時間帯に実施)
		[No.2, 3]		(5月、11月)
		堺基地:2点	11月20日	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点	11月17日	
		[No.A、B]		
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点	11月10日	(操業時間帯に実施)
		[No.2, 3]		(5月、11月)
		堺基地:2点	11月20日	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点	11月17日	
		[No.A、B]		
交通量	廃棄物輸送車	搬入ルート沿道		4回/年
	一般車	大阪基地 :3点	11月10日	(操業時間帯に実施)
		[No.1, 2, 4]		(5月、8月、11月、2月)
		堺基地 :4点	11月20日	
		[No.1, 2, 3, 4]		
		泉大津基地 : 3点	11月17日	
		[No.A, B, C]		
悪臭	臭気強度	敷地境界		2回/年
	臭気指数	大阪基地 : 2点(風上、風下)		(6月、8月)
		[No.5, 6]		
		堺基地:2点(風上、風下)	_	
		[No.5, 6]		
		泉大津基地 :2点(風上、風下)		
		[No.D1, D2]		

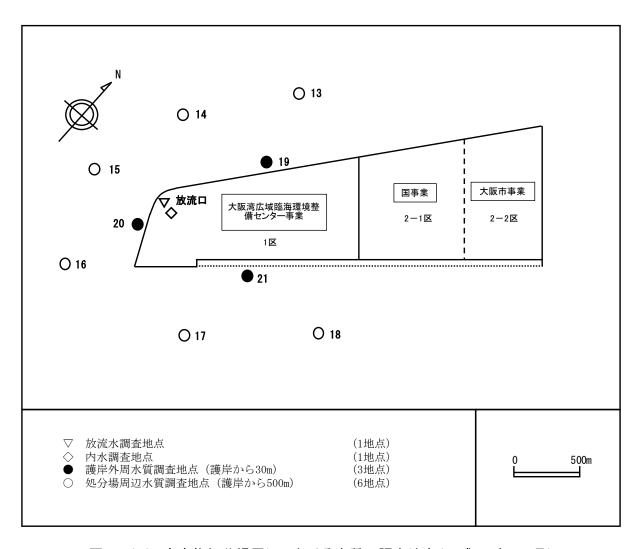


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点(平成27年11月)

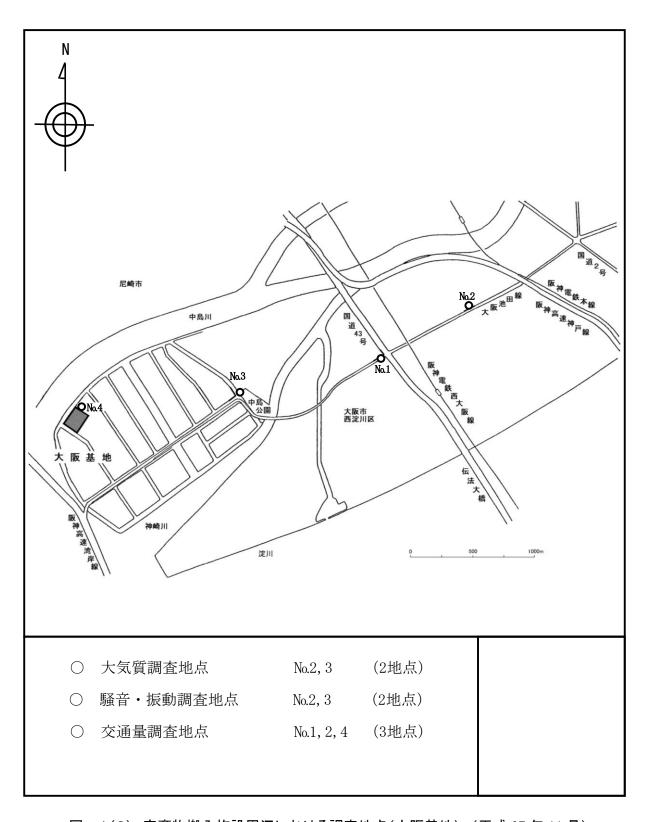


図-1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地) (平成 27 年 11 月)



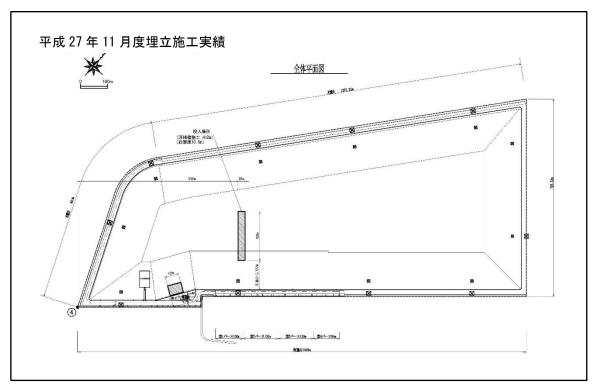
図-1(3) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(堺基地) (平成 27 年 11 月)



図-1(4) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(泉大津基地) (平成 27 年 11 月)

2. 工事の実施状況

平成27年11月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
3,479,998	24.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 27年 11月)

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

平成27年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】に記載。

(2) 水質

1)一般項目

平成27年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】に記載。

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6~10、12 号]

1) 放流水(連続測定)

濁度は、0.6~3.8 度(カオリン) (平均値 1.3 度(カオリン)) の範囲であった。

水温は、 $15.9 \sim 19.5 ^{\circ}$ C(平均値 $18.4 ^{\circ}$)の範囲であった。

pH は、6.7~6.9 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。

COD は、 $18.4\sim19.3$ mg/L(平均値 18.9mg/L)の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

DO は、 $6.4\sim6.7$ mg/L(平均値 6.6mg/L)であった。

2) 放流水、内水

• 放流水

SS は、 $1.1\sim1.8$ mg/L (平均値 1.5mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全測定を通じて報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pH は、7.2 であり、放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。 COD は、19mg/L であり、放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

T-N は、6.5mg/L であり、放流水の基準値(120mg/L、日間平均 60mg/L)及び管理目標値(30mg/L)を下回っていた。

T-P は、報告下限値未満 (<0.1mg/L) であり、放流水の基準値 (16mg/L、日間平均 8mg/L) 及び管理目標値 (4mg/L) を下回っていた。

n-^ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、放流水の基準値及び管理目標値(鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L)を下回っていた。

大腸菌群数は、不検出であり、放流水の基準値及び管理目標値(日間平均 3,000 個/cm³以下)を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書(平成27年11月分【埋立中調査②】)に記載。

内水

SS は、 $3.1\sim4.1$ mg/L(平均値 3.6mg/L)の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満(<1mg/L) ~1.6 mg/L(平均値 1.3mg/L)の範囲であった。

pH は 8.2、COD は 25mg/L、T-N は 8.1mg/L、T-P は 0.13mg/L、n-^キサン抽出物質は報告下限値未満(<0.5mg/L)、大腸菌群数は 9 個/mL であった。

健康項目等については、事後調査報告書(平成27年11月分【埋立中調査②】)に記載。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量(SS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ 、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim2mg/L$ の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L)であり、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ の範囲であった。

ウ) **水素イオン濃度** (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層、下層ともに 8.1 であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

工) 化学的酸素要求量(COD)【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で $1.8\sim2.0$ mg/L、下層で $1.4\sim1.9$ mg/L の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

t) 溶存酸素量(DO)【環境基準值:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で $6.3\sim7.0$ mg/L、下層で $5.9\sim6.5$ mg/L の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

カ) **全窒素** (T-N) 【環境基準値:0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で $0.34\sim0.57$ mg/L、下層で $0.20\sim0.30$ mg/L の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

‡) 全燐 (T-P) 【環境基準値: 0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.040\sim0.059$ mg/L、下層で $0.032\sim0.044$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 21 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 21 (0.059mg/L) であったが、 廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、上層で 0.033~ 0.18mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-^キサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数は $1.7 \times 10^{1} \sim 7.9 \times 10^{2}$ MPN/100mL の範囲であった。

1)健康項目等

事後調査報告書(平成27年11月分【埋立中調査②】)に記載。

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は上層で $0.4\sim1.2$ 度(bt))、下層で $1.8\sim4.5$ 度(bt))の範囲であった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量(SS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ 、下層で $1\sim3mg/L$ の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L)であり、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim2mg/L$ の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値:7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で $8.1\sim8.2$ の範囲、下層で 8.1 であり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

5) 化学的酸素要求量(COD) 【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で $1.6\sim1.9$ mg/L、下層で $1.2\sim1.4$ mg/L の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

6) 溶存酸素量(DO) 【環境基準値:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で $6.6\sim7.0$ mg/L、下層で $5.6\sim5.9$ mg/L の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L以下】

全窒素(T-N)は上層で $0.29\sim0.65$ mg/L、下層で $0.22\sim0.29$ mg/L の範囲にあり、上層で は調査地点 18 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境 基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 18 (0.65 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 $13 \sim 18$) の調査結果は、上層で $0.40 \sim 1.4 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値:0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.030\sim0.062$ mg/L、下層で $0.035\sim0.039$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 16、17、18 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 16 (0.062 mg/L)、調査地点 17 (0.062 mg/L)、調査地点 18 (0.056 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、上層で $0.033 \sim 0.18 \text{mg/L}$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) 10071ha

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は $2.0\times10^{\circ}\sim1.6\times10^{3}$ MPN/100mLの範囲であった。

12) カドミウム等

11月は実施せず。

(3) 底質

11月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

11月は実施せず。

(5) 悪臭

11月は実施せず。

(6) 陸域生態系(鳥類)

11月は実施せず。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) **大気質** 「大気質様式第 9~16 号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は 1.8m/sec であった。

イ) 中島公園近傍の測定点(№.3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 2.4m/sec であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は 0.8m/sec であった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点(No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は 0.9m/sec であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 1.6m/sec であった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南南東であり、平均風速は 1.1m/sec であった。

(2) **騒音・振動** [騒音・振動様式第5~8号]

1) 大阪基地

① 騒音

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

騒音レベル(L_{Aeq})は $67.9\sim70.0$ dB(平均 69dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値 (75dB)以下であった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No.3)

騒音レベル (L_{Aeq}) は $54.3\sim57.8$ dB(平均 56dB)であり、環境基準値(65dB)・要請限度値 (75dB)を下回っていた。

② 振動

測定点No.2 における振動レベル (L_{10}) は $41\sim45$ dB(平均 44dB)であり、測定点No.3 では $34\sim39$ dB(平均 37dB)であった。振動レベルは、共に要請限度値(65dB)を下回っていた。

2) 堺基地

① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

騒音レベル(L_{Aeq})は 73.9~75.6dB(平均 75dB)であり、要請限度値(75dB)以下であったが、環境基準値(70dB)を上回っていた。

なお、1時間値では、全ての時間帯で環境基準を超え、12時台、14時台及び17時台で要請限度を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、廃棄物輸送車両の総交通量に占める割合が0~1.2%であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

騒音レベル (L_{Aeq}) は $64.2\sim65.8$ dB(平均 65dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値 (75dB)を下回っていた。

② 振動

測定点No.1 における振動レベル (L_{10}) は $47\sim50$ dB(平均 49dB)であり、測定点No.2では 39 ~44 dB(平均 42dB)であった。両地点(No.1、No.2)の振動レベルはそれぞれの要請限度値 (65dB、70dB)を共に下回っていた。

3) 泉大津基地

① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

騒音レベル (L_{A+q}) は $63.7\sim66.7$ dB(平均 66dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値(75dB)を下回っていた。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

騒音レベル(L_{Aeq})は 69.9~74.0dB(平均 72dB)であり、要請限度値(75dB)を下回っていたが、環境基準値(70dB)を上回っていた。

なお、1 時間値では 8 時台を除く全ての時間帯で環境基準を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、この時間帯の廃棄物輸送車両の時間交通量に占める割合が $0\sim0.8\%$ であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

② 振動

測定点 No. Aにおける振動レベル(L_{10})は $43\sim45$ dB(平均 44dB)であり、測定点 No. Bでは $36\sim42$ dB(平均 38dB)であった。振動レベルは、共に要請限度値(70dB)を下回っていた。

(3) **交通量** [交通量様式第1~2号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 994~1,554 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~6 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 29 台/10hr で、総交通量(13,217 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,053~1,460 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~4 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 19 台/10hr で、総交通量(12,841 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点(No.4)

時間交通量は $67\sim206$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim68$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は348台/10hrで、総交通量(1,452台/10hr)に占める割合は24.0%であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は1,791~3,054 台、廃棄物輸送車の時間交通量は0~33 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は82台/10hrで、総交通量(25,834台/10hr)に占める割合は0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点(№.2)

時間交通量は 1,393~1,764 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~7 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 25 台/10hr で、総交通量(15,133 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,748~3,240 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~5 台で推移し、測定日の

廃棄物輸送車総交通量は 28 台/10hr で、総交通量(21,940 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は $18\sim79$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $6\sim73$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 350 台/9hr で、総交通量(374 台/9hr)に占める割合は 93.6%であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

時間交通量は $1,834\sim3,049$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim11$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 45 台/10hr で、総交通量(23,841 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は $689\sim1,094$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim7$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 35 台/10hr で、総交通量(8,573 台/10hr)に占める割合は 0.4% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点 (No. C)

時間交通量は $128\sim290$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim56$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 260 台/10hrで、総交通量(2,174 台/10hr)に占める割合は 12.0%であった。

(4) 悪臭

11月は実施せず。

《 参 考 》環境基準等(本報告関係分)

1 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m 3 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20 mg/m 3 以下であること。

(2) 水質 (海域)

類型	項目	基準値
	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
D	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L以下
В	溶存酸素量 (DO)	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
ш	全窒素 (T·N)	0.6mg/L 以下
Ш	全燐 (T·P)	0.05mg/L 以下

- 注)1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全 窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
 - 2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。 公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)
 - (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値 $(0.75 \times n$ 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる)とする。

- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と 同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基 準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断 方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音(道路に面する地域)

廃棄物	測定地点	用途			騒音に係る 環境基準値 (dB)	
搬入施設	例足地点	地域	区分			
大阪	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	特例	70	
基地	No.3 (中島公園近傍)	第 1 種 住居	(2)	В	65	
堺基	No.1 (大阪臨海線沿道)	第 1 種 住居	幹線 道路 (6)	特例	70	
地	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣商業	幹線 道路 (4)	特例	70	
	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	特例	70	
基 地 地	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	特例	70	

- 注:1. 上表の環境基準は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。
 - (昼間) 騒音に係る環境基準 : 午前6時から午後10時まで
 - 2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に 近接する空間」のことである。()内は面する道路の車線数である。
 - 3. 区域区分は以下のとおりである。
 - 幹線道路を担う道路に近接する空間は特例
 - B地域(第1種住居地域)のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域
 - 4. 騒音に係る環境基準は $L_{\rm Aeq}$ によるものである。

2. 規制基準値等

(1) 水質(放流水)

処分場		基準値	管理目標値
	水素イオン濃度 (pH)	濃度 (pH) 5.0 以上 9.0 以下	
管	化学的酸素要求量 (COD)	学的酸素要求量 (COD) 90mg/L 以下	
理	浮遊物質量 (SS)	60mg/L以下	50mg/L以下
型 最	全窒素 (T-N)	120mg/L(日間平均 60mg/L)以下	30mg/L以下
終処	全燐 (T-P)	16mg/L(日間平均 8mg/L)以下	4mg/L以下
分場	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量(n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量:30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第一より抜粋
 - 2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 騒音・振動 (要請限度)

廃棄物	測定地点	用途	地域	自動車 要請 (d B	限度	道路交通振動の 要請限度 (dB)	
搬入施設	例足地杰	地域	区分	区域 区分	限度	区域 区分	区域 限度 第1種 65 65
大阪	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	b	75 第1種 65	65	
基地	№3 (中島公園近傍)	第 1 種 住居	(2)	ט	75	<i>外</i> 711至	
堺基	No.1 (大阪臨海線沿道)	第 1 種 住居	幹線 道路 (6)	b	75	区域	65
地	No.2(堺狭山線沿道)	近隣商業	幹線 道路 (4)	С	75		70
泉 大 津	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	С	75	第2種	70
基地	No.B(泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	С	15	第2種	70

注:1. 上表の環境基準及び要請限度は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。

(昼間) 自動車騒音の要請限度 : 午前6時から午後10時まで 道路交通振動の要請限度 : 午前6時から午後9時まで

2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。 () 内は面する道路の車線数である。

3. 区域区分は以下のとおりである。

(自動車騒音の要請限度) b 区域(第1種住居地域、準住居地域)のうち車線を有する道路に面する区域 c 区域(準工業地域)のうち車線を有する道路に面する区域

(道路交通振動の要請限度) 第1種住居地域、準住居地域は第1種区域

近隣商業地域、準工業地域は第2種区域 4. 道路交通騒音の要請限度は L_{Aeq} 、道路交通振動の要請限度は L_{10} によるものである。

3. 廃棄物等受入前調査結果 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月·水質 (処分場周辺))

		廃棄物等受入前調査		
	区分	(平成 20 年 5,8,11 月、		
項目	\ <u>\</u>	如分場周辺 (調査	查地点 13~18)	
		最小値 ~ 最大値	平均値	
		(m/n)	(m/n)	
水素イオン濃度	上層	$8.0 \sim 8.7$ (19/36)	_	
(pH)	一〕 下層	$7.8 \sim 8.3$ (0/36)	_	
化学的酸素要求	量上層	$2.1 \sim 8.1 \ (26/36)$	4.3 ~ 5.8 (6/6)	
(COD) [mg	/L〕 下層	1.5 ~ 3.3 (3/36)	2.4 ~ 3.0 (0/6)	
溶存酸素量	上層	7.5 ~ 12 (0/36)	9.1 ~ 9.8	
(DO) [mg	/L〕 下層	1.9 ~ 9.5 (9/36)	$5.8 \sim 7.0$	
n-ヘキサン抽出物 〔mg	上層	<0.5 ~ <0.5 (0/36)	<0.5 ~ <0.5	
全窒素	上層	0.40 ~ 1.4	$0.65 \sim 0.92$ (6/6)	
(T-N) [mg	/L〕 下層	0.18 ~ 0.79	0.32 ~ 0.44 (0/6)	
全燐	上層	0.033 ~ 0.18	$0.067 \sim 0.097$ (6/6)	
(T-P) (mg	·/L〕 下層	0.014 ~ 0.16	$0.034 \sim 0.075 \ (4/6)$	

注) 1.「最大~最小」の値は、調査地点13~18におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。

^{2.} m:環境基準を満たしていないデータ数、n:総データ数を示す。

^{3.「}平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質様式第6号

水質調査結果(放流水(連続測定:総括))

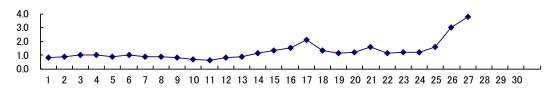
[平成27年 11月分]

	I	l			
	区分			放流水	
項目		最小値	\sim	最大値	平均值
濁度	[度(カオリン)]	0.6	~	3.8	1.3
水温	$[\infty]$	15. 9	\sim	19.5	18. 4
рН	[-]	6. 7	\sim	6.9	6.8
COD	[mg/L]	18. 4	\sim	19.3	18.9
DO	[mg/L]	6. 4	\sim	6.7	6.6
特記事項		11/28~30	放流係	 学止	

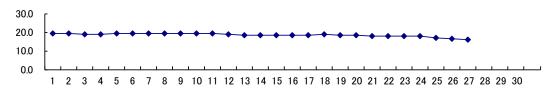
水質調査結果 (放流水 (連続測定))

[平成27年 11月分]

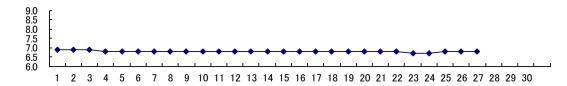
濁度[度(カオリン)]



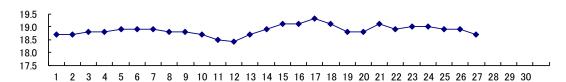
水温[℃]



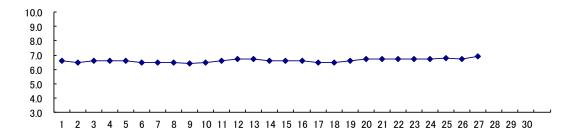
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(D0)[mg/L]



11/28~30放流停止

水質様式第8号

水質調査結果(放流水、内水①)[平成27年11月分]

区分	放流水			内水		
項目		SS	FSS		SS	FSS
	時刻			時刻		
調査日		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
11/5 (木)	10:10	1. 1	< 1	9:50	4. 1	1.6
11/10 (火)	9:50	1.3	< 1	10:05	3.8	1.6
11/17 (火)	9:45	1.8	< 1	10:00	3.5	1. 1
11/24 (火)	9:45	1.8	< 1	10:00	3. 1	< 1
平均值	_	1.5	< 1	_	3.6	1.3
最小値		1. 1	< 1	_	3. 1	< 1
最大値	_	1.8	< 1	_	4. 1	1.6

特記事項			

水質様式第9号

水質調査結果(放流水、内水②)[平成27年11月分]

調査日:平成27年11月5日

区分 項目	放流水	内水
時刻	10:10	9:50
[—] Hq	7. 2 (20°C)	8. 2 (20°C)
COD[mg/L]	19	25
T-N[mg/L]	6. 5	8. 1

特記事項		

水質様式第 10 号

水質調査結果(放流水、内水③)[平成27年11月分]

調査日:平成27年11月5日

項目	放流水	内水
時刻	10:10	9:50
T-P[mg/L]	< 0.1	0.13
n-ヘキサン抽出物質[mg/L]	< 0.5	< 0.5
鉱油類含有量[mg/L]	_	_
動植物油脂含有量[mg/L]	_	_
大腸菌群数[個/mL]	不検出	9

性: 10 市 TG	
特記事項	
	II - 4
	ш 4

水質調査結果 (護岸外周①) [平成 27 年 11 月分]

調査日:平成27年11月5日

						19.3	. 日,干,灰2	
項目	調査点	19	20	21	最小値	~	最大値	平均値
時刻		11:08	10:15	9:52				_
透明度	[m]	8. 4	10. 5	7.8	7.8	~	10.5	8.9
水温		20.7	20.5	20.5	20.5	\sim	20.7	20.6
	$[^{\circ}C]$	21.3	21.2	21. 1	21. 1	\sim	21.3	21. 2
塩分		31. 79	31.07	28. 73	28.73	\sim	31.79	30. 53
	[-]	32. 33	32. 36	31.68	31.68	\sim	32.36	32. 12
浮遊物質量(ss)	<1	<1	1	<1	\sim	1	1
	[mg/L]	<1	1	2	<1	\sim	2	1
不揮発性浮遊物	物質量	<1	<1	<1	<1	\sim	<1	<1
(FSS)	[mg/L]	<1	<1	1	<1	\sim	1	1
水素イオン濃原	度	8. 1	8. 1	8. 1	8. 1	\sim	8. 1	8. 1
(pH)	[-]	8. 1	8. 1	8.1	8. 1	\sim	8. 1	8. 1
化学的酸素要素	求量	1.8	1.8	2.0	1.8	\sim	2.0	1.9
(COD)	[mg/L]	1.4	1.6	1.9	1.4	\sim	1.9	1.6
	濃度	6. 4	6.3	7.0	6.3	\sim	7.0	6.6
溶存酸素量	[mg/L]	6. 5	6.4	5.9	5.9	\sim	6. 5	6.3
(DO)	飽和度	86	84	92	84	\sim	92	87
	[%]	89	87	80	80	\sim	89	85
全窒素		0.34	0.39	0.57	0.34	\sim	0.57	0.43
(T-N)	[mg/L]	0.20	0.23	0.30	0.20	\sim	0.30	0.24
全燐		0.040	0.047	0.059	0.040	\sim	0.059	0.049
(T-P)	[mg/L]	0.032	0.034	0.044	0.032	\sim	0.044	0.037
n-ヘキサン抽出物質	質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	~	<0.5	<0.5
大腸菌群数〔M	MPN/100mL]	1. 7×10^{1}	7.9×10^{1}	7.9×10^{2}	1. 7×10^{1}	\sim	7. 9×10^2	3.0×10^{2}

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

但し、n-^キサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			

水質様式第 16 号

水質調査結果(処分場周辺①)[平成27年11月分]

調査日:平成27年11月5日

								調宜日: ⁴	1 13/2/2	11 11/10	-
項目	調査点	13	14	15	16	17	18	最小値	~	最大値	平均値
時刻		11:20	10:57	10:46	10:35	9:47	9:32		_		_
透明度	[m]	8. 7	12.0	11. 3	10. 2	6. 6	7. 9	6. 6	\sim	12.0	9. 5
水温		20.6	20.5	20.7	20.8	20. 7	20.8	20.5	~	20.8	20. 7
	$[\infty]$	21.2	21.2	21.2	21.3	21. 2	21. 1	21.1	\sim	21.3	21. 2
塩分		30. 91	31.69	30. 59	29.82	29. 12	29. 32	29. 12	~	31.69	30. 24
	[-]	32.33	32. 34	32.35	32. 35	32. 35	32. 33	32. 33	\sim	32.35	32. 34
濁度		0.6	0.4	0.7	1. 2	1. 1	1. 1	0.4	\sim	1.2	0.9
[]	度 (カオリン)]	2.5	2.6	3.0	1.8	3. 2	4. 5	1.8	\sim	4.5	2. 9
浮遊物質量	(SS)	1	<1	<1	1	<1	<1	<1	\sim	1	1
	[mg/L]	2	1	2	1	3	3	1	\sim	3	2
不揮発性浮遊	É物質量	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	\sim	<1	<1
(FSS)	[mg/L]	1	<1	1	<1	2	2	<1	\sim	2	1
水素イオン濃	農 度	8.2	8.2	8.1	8. 1	8. 1	8. 1	8. 1	\sim	8.2	8. 1
(pH)	[-]	8. 1	8. 1	8. 1	8. 1	8. 1	8. 1	8.1	\sim	8.1	8. 1
化学的酸素要	東求量	1.6	1.7	1.7	1.9	1.6	1. 9	1.6	\sim	1.9	1. 7
(COD)	[mg/L]	1.4	1.4	1.4	1.2	1.2	1.4	1.2	\sim	1.4	1.3
	濃 度	6.8	7.0	6.8	6. 7	6.6	6.6	6.6	\sim	7.0	6.8
溶存酸素量	[mg/L]	5.9	5.8	5.6	5.6	5.8	5. 9	5.6	\sim	5.9	5.8
(DO)	飽和度	91	94	91	89	87	88	87	\sim	94	90
	[%]	80	79	76	76	79	80	76	\sim	80	78
全窒素		0.41	0. 29	0.41	0.57	0. 59	0.65	0.29	\sim	0.65	0.49
(T-N)	[mg/L]	0.23	0.24	0.25	0. 22	0. 26	0. 29	0.22	\sim	0.29	0. 25
全燐		0.038	0.030	0.043	0.062	0.062	0.056	0.030	\sim	0.062	0.049
(T-P)	[mg/L]	0.035	0.038	0.039	0.037	0.037	0. 036	0.035	\sim	0.039	0. 037
クロロフィル	∕ a	1.2	2.0	1.4	2. 7	2.0	2.6	1.2	\sim	2.7	2.0
(chl. a)	-, -, -	0.5	1.3	1.8	1. 4	1. 2	1. 0	0.5	\sim	1.8	1.2
n-ヘキサン抽出物	n質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	\sim	<0.5	<0.5
大腸菌群数	[MPN/100mL]	7.9×10^{1}	2.0×10^{0}	1. 7×10^2	3.3×10^{2}	1. 6×10^3	4. 9×10^{2}	2.0×10^{0}	\sim	1. 6×10^3	4. 5×10^2

注)	上段	:	上層	(海面下1m)
	下段	:	下層	(海底面上2m)

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			

大気質様式第9号(廃棄物搬入施設関連)

大気質測定結果総括表(大阪基地)[平成27年11月分]

項	測定点	No. 2	No. 3
_	有効測定日数(日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
页	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数(日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
室素	測定時間数 (時間)	168	168
来	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮游	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(堺基地)[平成27年11月分]

項	測定点	No. 1	No. 2
_	有効測定日数(日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
典	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	1	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
室素	測定時間数 (時間)	168	168
来	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数(日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	0
大状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[平成27年11月分]

項	測定点	No. A	No. B
_	有効測定日数(日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
页	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数(日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	4	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
空素	測定時間数 (時間)	168	168
来	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮游	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
大状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質様式第10号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	.2	No. 3		
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 別 9 (月) 10 (火) 値 11 (水)	0. 006 0. 005 0. 002 0. 004 0. 003 0. 003	0. 013 0. 007 0. 003 0. 006 0. 004 0. 005	0. 005 0. 005 0. 002 0. 003 0. 002 0. 003	0. 005 0. 003	
11 (木) 12 (木) 有 効 測 定 日 数 (日)	0. 003	0.006	0. 003	0.006	
測 定 時 間 (時間)		58	16		
期間平均値(ppm)	0.004		0. (003	
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	006	0. (005	
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	013	0. (009	
1 時間値が0. 1ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()	
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	()	

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No. 1 No. 2			2
項目	口平均恒 最	:間値の :高値 ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (木) 値 19 (木) 20 (金)	0. 002 0. 004 0. 005 0. 003 0. 002 0. 003 0. 005	0. 003 0. 017 0. 017 0. 005 0. 003 0. 003 0. 010	0. 003 0. 004 0. 005 0. 004 0. 003 0. 003 0. 005	0. 004 0. 007 0. 016 0. 007 0. 004 0. 005 0. 011
有効測定日数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	168		168	
期間平均値(ppm)	0.003		0. 0	004
日平均値の最高値 (ppm)	0.005		0. (005
1時間値の最高値 (ppm)	0.017	0.017 0.016		
1 時間値が0. 1ppmを 超えた時間数 (時間)	0		()
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	0		()

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	.A	No.	В
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (水) 19 (木)	0. 003 0. 003 0. 004 0. 004 0. 004 0. 003 0. 004	0. 011 0. 008 0. 004	0.003	0. 005 0. 004 0. 008 0. 013 0. 009 0. 004 0. 005
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	58
期間平均値(ppm)	0.0	003	0. (004
日平均値の最高値 (ppm)	0. (004	0. (005
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	011	0. ()13
1 時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第11号(廃棄物搬入施設関連)

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	2	No. 3		
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 別 9 (月) 10 (火) 値 11 (水) 12 (木)	0. 014 0. 007 0. 005 0. 055 0. 002 0. 006 0. 008	0. 035 0. 021 0. 013 0. 124 0. 006 0. 022 0. 023	0. 019 0. 005 0. 002 0. 067 0. 006 0. 012 0. 012	0. 068 0. 015 0. 004 0. 148 0. 035 0. 072 0. 054	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7		
測 定 時 間 (時間)	168		168		
期間平均値(ppm)	平 均 値 (ppm) 0.014 0.018				
日平均値の最高値 (ppm)	0.0)55	0.067		
1時間値の最高値 (ppm)	0. 1	24	0. 148		

一酸化窒素測定結果(堺基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	1	No.	. 2	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (水) 値 19 (木) 20 (金)	0. 010 0. 011 0. 033 0. 040 0. 035 0. 039 0. 034	0. 042 0. 037 0. 096 0. 122 0. 076 0. 132 0. 090	0. 003 0. 009 0. 028 0. 020 0. 016 0. 007 0. 035	0. 014 0. 027 0. 070 0. 054 0. 048 0. 032 0. 079	
有効測定日数 (日)	7	7	7	7	
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	38	
期間平均値(ppm)	0. ()29	0.017		
日平均値の最高値 (ppm)	0. ()40	0. ()35	
1時間値の最高値 (ppm)	0. 1	132	0. ()79	

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	A	No. B		
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (水) 19 (木)	0. 052 0. 033 0. 015 0. 074 0. 109 0. 093 0. 066	0. 151 0. 120 0. 066 0. 243 0. 218 0. 211 0. 156	0. 019 0. 009 0. 007 0. 017 0. 040 0. 030 0. 019	0. 054 0. 027 0. 025 0. 053 0. 075 0. 076 0. 050	
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	•	7	
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	38	
期間平均値(ppm)	0. ()63	0.020		
日平均値の最高値 (ppm)	0. 1	109	0. ()40	
1時間値の最高値 (ppm)	0. 2	243	0. ()76	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第12号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	No. 2 No. 3			
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 別 9 (月) 10 (火) 値 11 (水) 12 (木)	0. 035 0. 020 0. 014 0. 033 0. 009 0. 014 0. 021	0. 067 0. 034 0. 025 0. 048 0. 021 0. 035 0. 036	0. 037 0. 019 0. 012 0. 038 0. 011 0. 015 0. 019	0. 068 0. 034 0. 027 0. 059 0. 032 0. 042 0. 042	
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	7		
測 定 時 間 (時間)	16	88	168		
期間平均値(ppm)	0. (021	0. ()22	
日平均値の最高値 (ppm)	0. 035		0. ()38	
1時間値の最高値 (ppm)	0.067		0. (068	
1 時間値が0. 2ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()	
1 時間値が0. lppm以上 0. 2ppm以下の時間数(時間)	(0 0			
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	()	0		
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	()	()	

二酸化窒素測定結果(堺基地)[平成27年11月分]

測定点	No. 1		No.	2	
項目	日平均値 (ppm)	時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (木) 値 19 (木) 20 (金)	0. 022 0. 022 0. 039 0. 040 0. 037 0. 039 0. 036	0. 043 0. 031 0. 069 0. 071 0. 050 0. 065 0. 063	0. 013 0. 018 0. 034 0. 033 0. 028 0. 020 0. 034	0. 025 0. 025 0. 061 0. 057 0. 036 0. 041 0. 051	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7		
測 定 時 間 (時間)	168		168		
期間平均値(ppm)	0. 033		0.0	026	
日平均値の最高値 (ppm)	0.040)	0.0)34	
1時間値の最高値 (ppm)	0.071		0.0	061	
1 時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		()	
1 時間値が0. lppm以上 0. 2ppm以下の時間数 (時間)	0		0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0		()	
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	1		()	

二酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	No. A No. B			
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (木)	0. 039 0. 032 0. 021 0. 043 0. 052 0. 047 0. 043	0. 060 0. 050 0. 031 0. 058 0. 083 0. 072 0. 069	0. 022 0. 016 0. 014 0. 024 0. 031 0. 027 0. 027	0. 035 0. 026 0. 021 0. 036 0. 046 0. 039 0. 039	
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	7		
測 定 時 間 (時間)	16	38	168		
期間平均値(ppm)	0.0)40	0.0)23	
日平均値の最高値 (ppm)	0. ()52	0. (031	
1時間値の最高値 (ppm)	0.083		0. ()46	
1 時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		()	
1 時間値が0. lppm以上 0. 2ppm以下の時間数(時間)	()	()	
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0 0)	
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	4	1	()	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平 均値の集計の対象としない。

大気質様式第13号(廃棄物搬入施設関連)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No. 2 No. 3					
	日平	均値	1 吐眼体の	日平:	1 吐眼体の	
項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 別 9 (月) 10 (火) 値 11 (水)	0. 050 0. 027 0. 019 0. 087 0. 011 0. 020 0. 028	37. 9 81. 8 70. 0	0. 102 0. 055 0. 038 0. 172 0. 026 0. 055 0. 059	0. 057 0. 024 0. 015 0. 104 0. 017 0. 027 0. 032	64. 9 79. 2 80. 0 36. 5 64. 7 55. 6 59. 4	0. 115 0. 046 0. 030 0. 207 0. 067 0. 114 0. 094
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7	
測 定 時 間 (時間)		168			168	
期間平均値(ppm)		0.035			0. 039	
日平均値の最高値 (ppm)		0.087			0.104	
1時間値の最高値 (ppm)		0. 172			0. 207	
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		60.0			56. 4	

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(堺基地)[平成27年11月分]

測 定 点		No. 1			No. 2	
	日平	均値	1 吐眼体の	日平	均値	
項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (水) 値 19 (本)	0. 032 0. 033 0. 073 0. 080 0. 072 0. 078 0. 070	66. 7 53. 4 50. 0 51. 4 50. 0	0.125	0. 016 0. 026 0. 062 0. 053 0. 043 0. 027 0. 069	81. 3 69. 2 54. 8 62. 3 65. 1 74. 1 49. 3	0. 103 0. 079 0. 073
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7	
測 定 時 間 (時間)		168		168		
期間平均値(ppm)		0.062			0.042	
日平均値の最高値 (ppm)		0.080	·		0.069	
1時間値の最高値 (ppm)		0. 197	·		0. 129	
期間平均値 NO2/(NO+NO2) (%)		53. 2			61. 9	

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(泉大津基地)[平成27年11月分]

測定点		No. A			No. B	
	日平	均値	1 吐眼体の	日平	均値	. where the -
項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (水) 19 (木) 有 効 測 定 日 数 (日)	0. 092 0. 065 0. 036 0. 117 0. 161 0. 140 0. 109	58. 3 36. 8 32. 3 33. 6	0. 096 0. 298 0. 282 0. 283	0. 041 0. 025 0. 021 0. 041 0. 071 0. 057 0. 046	53. 7 64. 0 66. 7 58. 5 43. 7 47. 4 58. 7	0. 104 0. 105
測 定 時 間 (時間)		168			168	
期間平均値(ppm)		0.103			0.043	
日平均値の最高値 (ppm)		0. 161			0.071	
1時間値の最高値 (ppm)		0.298			0.105	
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		38. 8			53. 5	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の 対象としない。
 - 2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。
 - 日(期間)平均値NO2/(NO+NO2)
 - = $(N0及UNO_2$ が同時測定されている時間のN02濃度の日 (期間)間にわたる総和) / $(N0及UNO_2$ が同時測定されている時間のN0+N02濃度の日 (月)間にわたる総和)

大気質様式第14号(廃棄物搬入施設関連)

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	.2	No. 3		
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1時間値の 最高値 (mg/m³)	
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 別 9 (月) 10 (火) 値 11 (水)	0. 020 0. 022 0. 015 0. 023 0. 002	0. 052 0. 043 0. 031 0. 048 0. 019	0. 026 0. 024 0. 015 0. 030 0. 006	0. 055 0. 017	
12 (木)	0. 005 0. 004	0.010	0. 004 0. 010		
有 効 測 定 日 数 (日) 測 定 時 間 (時間)		68	16		
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. ()13	0. ()16	
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0)23	0. ()30	
1時間値の最高値 (mg/m³)	0.0)52	0. ()57	
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	()	()	
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()	

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	No. 1 No. 2		
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (木) 値 19 (木) 20 (金)	0. 005 0. 016 0. 011 0. 030 0. 015 0. 008 0. 015	0. 033 0. 059 0. 033 0. 023	0. 004 0. 012 0. 011 0. 028 0. 010 0. 009 0. 016	0. 021 0. 021
有 効 測 定 日 数 (日)	-	7	7	7
測 定 時 間 (時間)	16	58	16	58
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0.014		0. (013
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0	030	0. ()28
1時間値の最高値 (mg/m³)	0.0)59	0. (052
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[平成27年11月分]

測 定 点	No.	A	No.	В
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (水) 19 (木)	0. 014 0. 009 0. 010 0. 013 0. 027 0. 016 0. 009		0. 014 0. 005 0. 010 0. 011 0. 028 0. 012 0. 008	0.029
有効測定日数 (日)	7	7	,	7
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	68
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. (014	0. (012
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.027		0. ()28
1時間値の最高値 (mg/m³)	0. (0.059		067
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第15号(廃棄物搬入施設関連)

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[平成27年11月分]

測 定 点			No. 2				No. 3	
		風 追	ŧ	最多		風 追	ŧ	最多
	平均	最 大	. 風 速	風向	平均	最 大	. 風 速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 6 (金) 7 (土) 8 (日) 9 (月) 10 (火) 値 11 (水) 12 (木)	1. 4 1. 5 1. 8 1. 3 2. 7 2. 2 2. 0	2. 6 2. 3 3. 4 2. 7 5. 3 4. 4 3. 8	SW NE ENE SW NNW N	N NE NE N N N	1. 8 2. 3 2. 5 1. 4 3. 2 2. 8 2. 8	3. 5 3. 2 4. 0 2. 8 5. 4 4. 8 3. 8	W ENE ENE WSW N NNE NNE	NNE ENE ENE SW NNE NNE ENE
有 効 測 定 日 数 (日)			7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)			1.8				2. 4	
期間最大風速 (m/s)			5. 3				5. 4	
期間最多風向 (16方位)			N				ENE	

気象観測結果(風向・風速)(堺基地)[平成27年11月分]

測 定 点			No. 1				No. 2	
		風 遠		最多		風	束	最多
	平均	最大	. 風 速	風向	平均	最大	. 風速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 14 (土) 15 (日) 16 (月) 別 17 (火) 18 (水) 値 19 (木) 20 (金)	0.7 0.7 1.0 0.9 0.6 0.7	2. 0 1. 8 1. 7 2. 2 1. 3 1. 4 1. 8	WNW ESE ESE E NNW NNW	NNE E ESE E NNE NNW SE	1. 2 1. 1 0. 7 0. 6 0. 9 1. 0 0. 8	2. 1 1. 6 1. 4 2. 0 2. 4	NNE NNE W SE NNE NNE W	NE NNE E ENE NNE NNE WSW
有 効 測 定 日 数 (日)			7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)			0.8				0.9	
期間最大風速 (m/s)	<u>"</u>		2. 2		<u>"</u>		2. 4	
期間最多風向 (16方位)			ESE				NNE	

気象観測結果(風向・風速)(泉大津基地)[平成27年11月分]

測 定 点			No. A				No. B	
		風	ŧ	最多		風 遠	束	最多
	平均	最大	. 風 速	風向	平均	最大	. 風速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 13 (金) 14 (土) 15 (日) 別 16 (月) 17 (火) 値 18 (水) 19 (木)	2. 8 2. 0 1. 2 1. 0 1. 2 1. 5 1. 2	4. 4 4. 1 3. 6 2. 4 2. 1 2. 8 2. 0	E ENE ENE E E ENE E	E E WNW ESE E E SE	1. 5 1. 2 1. 0 0. 9 0. 8 1. 0 1. 3	2. 0 2. 3 2. 4 1. 8 1. 8 2. 0 3. 0		SSE SSE SSE SSE SSE SSE NNW
有効測定日数 (目)	•		7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)			1.6				1.1	
期間最大風速 (m/s)			4.4				3.0	
期間最多風向 (16方位)			Е				SSE	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

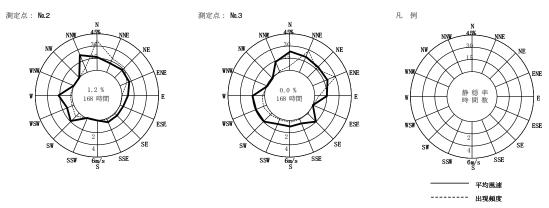
風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地)[平成27年11月分]

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	30	28	16	1	1	2	3	_	_	9	4	3	_	_	9	60	2	168
頻 度 (%)	17.9	16. 7	9. 5	0.6	0.6	1.2	1.8	_	_	5. 4	2. 4	1.8	_	_	5.4	35. 7	1. 2	_
平均風速(m/s)	1.5	1.7	1. 6	1. 0	0.6	0.6	0.7	_	_	1. 9	1. 1	2. 1	_	_	2.9	2. 1	0.3	_

測定点:No.3

方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	47	26	49	8	_	1	1	3	2	4	8	6	_	_	3	10	_	168
頻 度 (%)	28.0	15. 5	29. 2	4.8	_	0.6	0.6	1.8	1. 2	2. 4	4.8	3.6	_	-	1.8	6.0	_	_
平均風速(m/s)	2.7	2.4	2. 5	1. 9	_	1.9	0.8	0.9	0.9	1.8	1.9	2.0	_	_	1.9	3. 1	_	_



風 配 図 (大阪基地)[平成27年11月分]

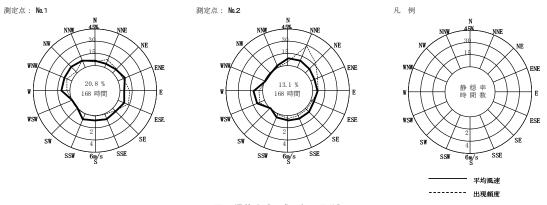
風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地)[平成27年11月分]

測定点:No.1

W1 VC VW - 140. 1																		
方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	17	12	11	20	23	7	2	2	1	_	_	5	10	2	14	7	35	168
頻 度 (%)	10.1	7. 1	6. 5	11. 9	13. 7	4.2	1.2	1.2	0.6	_	_	3.0	6.0	1.2	8.3	4. 2	20.8	_
平均風速(m/s)	0.6	0.7	1. 2	0.7	1.1	0.8	1.0	0.8	1.0	-	_	1.3	1.2	1.3	1.1	0.7	0.2	_

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	47	29	14	11	2	3	4	6	1	_	11	8	_	-	1	9	22	168
頻 度 (%)	28.0	17. 3	8. 3	6. 5	1. 2	1.8	2.4	3.6	0.6	_	6.5	4.8	_	_	0.6	5. 4	13. 1	_
平均風速(m/s)	1.2	0.9	0.6	0.7	0.5	0.8	0.8	0.7	0.6	_	1. 3	1. 5	_	_	0.4	1. 2	0. 2	-



風 配 図 (堺基地)[平成27年11月分]

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

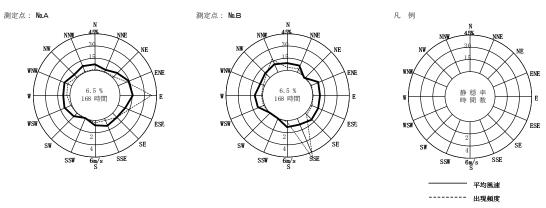
風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[平成27年11月分]

測定点:No.A

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	1	3	19	65	25	13	5	5	_	1	2	5	9	1	1	2	11	168
頻 度 (%)	0.6	1.8	11. 3	38. 7	14. 9	7.7	3.0	3.0	_	0.6	1. 2	3.0	5.4	0.6	0.6	1. 2	6. 5	_
平均風速(m/s)	0.4	1.1	1. 9	2. 1	1. 3	1.0	1.3	0.8	_	0.8	1.2	1.0	1.2	0.6	1.0	0.9	0. 2	_

測定点:No.B

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	8	_	3	3	5	6	87	3	-	-	1	1	1	7	27	5	11	168
頻 度 (%)	4.8	_	1.8	1.8	3.0	3.6	51.8	1.8	_	_	0.6	0.6	0.6	4.2	16. 1	3. 0	6. 5	-
平均風速(m/s)	1.1	_	1.4	1. 3	1.4	1.6	1.1	1.1	_	_	1.0	1. 1	0.6	0.9	1.3	1. 1	0.1	-



風 配 図 (泉大津基地)[平成27年11月分]

騒音・振動様式第5号(廃棄物搬入施設関連)

道路交通騒音調査結果総括表(大阪基地) [平成27年11月分]

調查日時:平成27年11月10日午前8時~午後6時

					騒音レ	ベル	(デシ	ベル)					
調査地点		L_{A5}			$L_{ m A50}$			L_{A95}			L_{Aeq}		主音源
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No. 2	74	73	76	65	63	67	54	53	58	69	67. 9	70.0	自動車
No. 3	60	57	63	52	51	54	50	48	53	56	54. 3	57.8	自動車

道路交通騒音調査結果総括表(堺基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月20日午前8時~午後6時

ную да. го		,,,				1 12	•						
					騒音レ	ベル	(デシ	ベル)					
調査地点		L A5			L A50		主音源						
	平均	最小	最大	平均	最小								
No. 1	79	79	80	73	71	75	66	65	66	75	73. 9	75. 6	自動車
No. 2	71	70	72	62	60	63	52	49	54	65	64. 2	65.8	自動車

道路交通騒音調査結果総括表(泉大津基地) [平成27年11月分]

調查日時:平成27年11月17日午前8時~午後6時

					騒音レ	ベル	(デシ	ベル)					
調査地点		L_{A5}			L_{A50}			L_{A95}			L_{Aeq}		主音源
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No. A	70	68	72	64	62	65	53	52	54	66	63. 7	66. 7	自動車
No. B	79	74	80	67	65	72	60	56	65	72	69. 9	74. 0	自動車

注:1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調查地点: № 2

調查日: 平成27年11月10日

<u> 調宜地忠</u>	: INO. Z				口 . 干败21年11月10日
調査	騒	音レベル	(デシベル	·)	主音源
時間	L A5	L A50	L A95	$L_{ m Aeq}$	土百伽
08:00	75	67	53	69.8	自動車
09:00	74	65	54	68.8	自動車
10:00	76	67	54	70.0	自動車
11:00	75	65	55	68.7	自動車
12:00	74	65	53	68.5	自動車
13:00	74	63	53	68. 2	自動車
14:00	74	66	55	69.0	自動車
15:00	74	64	55	68.0	自動車
16:00	74	65	58	69.0	自動車
17:00	73	65	54	67. 9	自動車
最小値	73	63	53	67. 9	
最大値	76	67	58	70.0	
平均值	74	65	54	69	

道路交通騒音調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 3

調査日:平成27年11月10日

<u> </u>	日 - 十八八十十十八 10日				
調査	騒	音レベル	(デシベル	·)	主音源
時間	L A5	L A50	L A95	L Aeq	土日你
08:00	57	51	48	54.3	自動車
09:00	63	51	48	57.0	自動車
10:00	62	52	49	55. 1	自動車
11:00	60	54	53	56. 2	自動車
12:00	60	54	52	56. 7	自動車
13:00	62	52	49	56. 2	自動車
14:00	63	53	51	57.8	自動車
15:00	59	52	49	57. 2	自動車
16:00	59	52	49	55.8	自動車
17:00	59	51	49	56. 1	自動車
最小值	57	51	48	54.3	
最大値	63	54	53	57.8	
平均值	60	52	50	56	

注:1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調杏地点・№ 1

調查日: 平成27年11月20日

<u> 調宜地忠</u>	: IVO. 1			则且	口 . 干败21年11月20日
調査	騒	音レベル	主音源		
時間	L A5	L A50	L A95	$L_{ m Aeq}$	土日你
08:00	80	72	65	74. 4	自動車
09:00	79	74	65	74.8	自動車
10:00	80	73	66	75.0	自動車
11:00	80	73	65	74.8	自動車
12:00	79	75	66	75. 2	自動車
13:00	79	71	65	73. 9	自動車
14:00	80	75	66	75. 6	自動車
15:00	79	74	66	74. 9	自動車
16:00	79	73	66	74.6	自動車
17:00	79	74	65	75. 1	自動車
最小値	79	71	65	73. 9	
最大値	80	75	66	75. 6	
平均值	79	73	66	75	

道路交通騒音調査結果(堺基地)[平成27年11月分]

調査地点: No. 2 調査日: 平成27年11月20日

調査	騒	音レベル	(デシベル	·)	主音源
時間	L A5	L A50	L A95	L Aeq	土日你
08:00	70	62	54	64. 2	自動車
09:00	71	63	53	65. 7	自動車
10:00	71	62	50	64. 7	自動車
11:00	70	60	50	64. 2	自動車
12:00	72	62	52	65.8	自動車
13:00	71	61	52	65. 1	自動車
14:00	71	61	49	64.6	自動車
15:00	71	62	53	64. 9	自動車
16:00	71	62	52	65. 0	自動車
17:00	70	60	52	65. 5	自動車
最小値	70	60	49	64. 2	
最大値	72	63	54	65.8	
平均値	71	62	52	65	

注:1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調查地点: No.A

調査日: 平成27年11月17日

则且也点:N0.A 则且日:十次21中11月11日							
調査	騒	音レベル	(デシベル	·)	主音源		
時間	L A5	L A50	L A95	$L_{ m Aeq}$	土目你		
08:00	68	63	53	63. 7	自動車		
09:00	69	63	53	64. 3	自動車		
10:00	70	62	53	64.6	自動車		
11:00	70	62	54	64.4	自動車		
12:00	71	64	52	66. 0	自動車		
13:00	71	63	54	65. 7	自動車		
14:00	72	65	54	66. 7	自動車		
15:00	71	65	53	66.3	自動車		
16:00	71	64	53	66. 2	自動車		
17:00	71	65	54	66.6	自動車		
最小值	68	62	52	63. 7			
最大値	72	65	54	66. 7			
平均值	70	64	53	66			

道路交通騒音調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. B

調査日:平成27年11月17日

調査	騒	音レベル	(デシベル	·)	主音源
時間	L A5	L A50	L A95	$L_{ m Aeq}$	土日你
08:00	74	68	62	69. 9	自動車
09:00	79	72	65	74. 0	自動車
10:00	78	67	60	71.8	自動車
11:00	78	66	59	71.4	自動車
12:00	79	65	58	72. 1	自動車
13:00	79	68	56	72.2	自動車
14:00	80	67	58	72.9	自動車
15:00	80	67	58	73. 2	自動車
16:00	79	67	59	72.0	自動車
17:00	80	67	60	73. 2	自動車
最小値	74	65	56	69. 9	
最大値	80	72	65	74.0	
平均値	79	67	60	72	

注:1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通振動調査結果総括表(大阪基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月10日午前8時~午後6時

	振動レベル (デシベル)								
調査地点	L 10			L 50			L 90		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 2	44	41	45	36	34	38	29	26	31
No. 3	37	34	39	33	31	35	31	28	33

道路交通振動調査結果総括表(堺基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月20日午前8時~午後6時

	振動レベル (デシベル)								
調査地点	L 10			L 50			L 90		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 1	49	47	50	44	42	45	40	37	42
No. 2	42	39	44	34	32	35	29	28	30

道路交通振動調査結果総括表 (泉大津基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月17日午前8時~午後6時

		振動レベル (デシベル)							
調査地点		L 10 L 50				L 90			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. A	44	43	45	41	40	42	39	38	40
No. B	38	36	42	31	29	32	26	<25	28

騒音·振動様式第8号(廃棄物搬入施設関連)

道路交通振動調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 2

調査日: 平成27年11月10日

調査	振動レ	ベル(デシ	ベル)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	42	35	27
09:00	43	35	29
10:00	45	38	31
11:00	45	36	30
12:00	44	36	28
13:00	44	36	27
14:00	45	36	29
15:00	43	35	27
16:00	44	37	31
17:00	41	34	26
最小値	41	34	26
最大値	45	38	31
平均値	44	36	29

道路交通振動調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 3 調査日: 平成27年11月10日

<u>ш</u> н .	1 170,21 7-11	. / , 	
調査	振動レ	ベル(デシ	ベル)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	36	32	29
09:00	37	34	32
10:00	38	34	31
11:00	39	35	32
12:00	38	32	29
13:00	37	34	31
14:00	39	35	33
15:00	37	33	30
16:00	37	33	30
17:00	34	31	28
最小値	34	31	28
最大値	39	35	33
平均値	37	33	31

騒音·振動様式第8号(廃棄物搬入施設関連)

道路交通振動調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No.1

調査日: 平成27年11月20日

調査	振動レ	ベル(デシ	ベル)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	47	42	39
09:00	49	44	41
10:00	49	45	42
11:00	49	45	41
12:00	49	45	41
13:00	48	44	40
14:00	50	45	40
15:00	48	44	39
16:00	48	44	40
17:00	48	43	37
最小値	47	42	37
最大値	50	45	42
平均値	49	44	40

道路交通振動調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 2 調査日: 平成27年11月20日

<u> </u>	1 170,21 11	/ 1 2 0 H	
調査	振動レ	ベル(デシ	ベル)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	39	32	28
09:00	42	35	30
10:00	41	34	29
11:00	43	35	30
12:00	44	34	29
13:00	42	34	29
14:00	43	35	30
15:00	43	35	30
16:00	44	34	28
17:00	40	33	28
最小値	39	32	28
最大値	44	35	30
平均值	42	34	29

騒音·振動様式第8号(廃棄物搬入施設関連)

道路交通振動調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点: No.A

調査日: 平成27年11月17日

調査	振動レ	ベル(デシ	ベル)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	43	40	38
09:00	45	41	39
10:00	45	42	40
11:00	45	41	40
12:00	44	40	38
13:00	43	40	38
14:00	45	41	39
15:00	44	41	39
16:00	44	41	39
17:00	43	40	39
最小値	43	40	38
最大値	45	42	40
平均値	44	41	39

道路交通振動調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点: No.B

調査日: 平成27年11月17日

	卡鲁 1.	ベル(デシ	(11.20
調査	仮期レ	ヘル(テシ	~\/\/\)
時間	L 10	L 50	L 90
08:00	36	30	26
09:00	36	32	28
10:00	42	32	28
11:00	40	32	27
12:00	36	29	<25
13:00	37	29	25
14:00	37	31	26
15:00	39	31	26
16:00	39	30	25
17:00	38	29	<25
最小値	36	29	<25
最大値	42	32	28
平均值	38	31	26

交通量調査結果総括表(大阪基地) [平成27年11月分]

調査日時: 平成27年11月10日 8時~18時

調査地点		総交通量	 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八 年 (%)
No. 1	4, 583	8, 634	13, 217	29	0. 2
No. 2	4, 668	8, 173	12, 841	19	0. 1
No. 3	_	_	_	_	_
No. 4	620	832	1, 452	348	24. 0

交通量調査結果総括表(堺基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月20日 8時~18時

調査地点		総交通量	 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八平 (%)
No. 1	6, 976	18, 858	25, 834	82	0.3
No. 2	3, 901	11, 232	15, 133	25	0.2
No. 3	5, 682	16, 258	21, 940	28	0. 1
No. 4	264	110	374	350	93. 6

注:調査地点No.4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、 8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果総括表(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査日時:平成27年11月17日 8時~18時

調査地点		総交通量	 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	年低八平 (%)
No. A	7, 891	15, 950	23, 841	45	0.2
No. B	4, 001	4, 572	8, 573	35	0.4
No. C	930	1, 244	2, 174	260	12.0

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 1

調查日時:平成27年11月10日

調査日	時: 平)	成27年	11月10	Ħ														
			中島	島方面					歌島	僑方面					合	計		
時刻	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	\ □ → →	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	1	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	1	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	324	618	942	0	34. 4	0.0	186	306	492	0	37.8	0.0	510	924	1, 434	0	35. 6	0.0
09:00	205	605	810	6	25. 3	0.7	204	330	534	0	38. 2	0.0	409	935	1, 344	6	30. 4	0.4
10:00	211	565	776	2	27. 2	0.3	458	306	764	2	59.9	0.3	669	871	1,540	4	43. 4	0.3
11:00	218	594	812	2	26.8	0.2	411	331	742	4	55. 4	0.5	629	925	1,554	6	40.5	0.4
12:00	121	414	535	1	22.6	0.2	198	384	582	0	34.0	0.0	319	798	1, 117	1	28. 6	0.1
13:00	271	236	507	3	53.5	0.6	126	361	487	1	25. 9	0.2	397	597	994	4	39. 9	0.4
14:00	385	330	715	1	53.8	0.1	139	414	553	1	25. 1	0.2	524	744	1, 268	2	41.3	0.2
15:00	138	523	661	1	20.9	0.2	127	360	487	1	26. 1	0.2	265	883	1, 148	2	23. 1	0.2
16:00	176	589	765	3	23.0	0.4	307	414	721	1	42.6	0.1	483	1,003	1, 486	4	32. 5	0.3
17:00	132	474	606	0	21.8	0.0	246	480	726	0	33.9	0.0	378	954	1, 332	0	28. 4	0.0
8:00~ 18:00	2, 181	4, 948	7, 129	19	30.6	0.3	2, 402	3,686	6, 088	10	39. 5	0.2	4, 583	8, 634	13, 217	29	34. 7	0.2

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 2

調査日時:平成27年11月10日

			中島	方面					歌島	橋方面					合	計		
時刻	3	と通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	2通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	訲	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	264	522	786	0	33. 6	0.0	210	408	618	0	34.0	0.0	474	930	1, 404	0	33.8	0.0
09:00	271	327	598	4	45. 3	0.7	270	372	642	0	42. 1	0.0	541	699	1, 240	4	43.6	0.3
10:00	307	439	746	2	41.2	0.3	294	372	666	0	44. 1	0.0	601	811	1, 412	2	42.6	0.1
11:00	272	384	656	2	41.5	0.3	295	313	608	2	48.5	0.3	567	697	1, 264	4	44. 9	0.3
12:00	217	348	565	1	38. 4	0. 2	193	300	493	1	39. 1	0.2	410	648	1,058	2	38.8	0.2
13:00	199	295	494	2	40.3	0.4	205	354	559	1	36. 7	0.2	404	649	1,053	3	38. 4	0.3
14:00	241	444	685	1	35. 2	0.1	259	516	775	1	33. 4	0.1	500	960	1,460	2	34. 2	0.1
15:00	162	397	559	1	29.0	0.2	211	456	667	1	31.6	0.1	373	853	1, 226	2	30.4	0.2
16:00	192	486	678	0	28.3	0.0	222	522	744	0	29.8	0.0	414	1,008	1, 422	0	29. 1	0.0
17:00	168	438	606	0	27. 7	0.0	216	480	696	0	31.0	0.0	384	918	1, 302	0	29. 5	0.0
8:00~ 18:00	2, 293	4, 080	6, 373	13	36. 0	0.2	2, 375	4,093	6, 468	6	36. 7	0.1	4, 668	8, 173	12, 841	19	36. 4	0. 1

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 4

調查日時:平成27年11月10日

調査日	時: 平)	成27年	11月10	Ħ														
			海:	方面					国道4	3号方面					合	計		
時刻	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	늚	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	訲	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	25	98	123	21	20.3	17. 1	6	18	24	0	25.0	0.0	31	116	147	21	21.1	14. 3
09:00	19	57	76	28	25.0	36.8	65	65	130	40	50.0	30.8	84	122	206	68	40.8	33. 0
10:00	35	40	75	33	46.7	44.0	60	34	94	34	63.8	36. 2	95	74	169	67	56. 2	39. 6
11:00	66	48	114	30	57. 9	26. 3	56	24	80	32	70.0	40.0	122	72	194	62	62. 9	32.0
12:00	4	31	35	5	11.4	14. 3	14	26	40	10	35.0	25.0	18	57	75	15	24.0	20.0
13:00	32	31	63	21	50.8	33. 3	23	42	65	17	35. 4	26. 2	55	73	128	38	43.0	29. 7
14:00	32	30	62	20	51.6	32.3	58	24	82	22	70.7	26.8	90	54	144	42	62.5	29. 2
15:00	28	6	34	16	82. 4	47.1	84	36	120	18	70.0	15.0	112	42	154	34	72.7	22. 1
16:00	0	30	30	0	0.0	0.0	1	36	37	1	2. 7	2.7	1	66	67	1	1.5	1.5
17:00	12	48	60	0	20.0	0.0	0	108	108	0	0.0	0.0	12	156	168	0	7. 1	0.0
8:00~ 18:00	253	419	672	174	37. 6	25. 9	367	413	780	174	47. 1	22. 3	620	832	1, 452	348	42.7	24. 0

交通量調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 1

調査日時:平成27年11月20日

			大阪	方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	泛通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	204	1, 254	1, 458	0	14.0	0.0	357	931	1, 288	4	27. 7	0.3	561	2, 185	2, 746	4	20.4	0.1
09:00	309	1, 113	1,422	18	21.7	1.3	390	861	1, 251	15	31.2	1.2	699	1,974	2,673	33	26. 2	1.2
10:00	381	1,000	1, 381	7	27.6	0.5	364	840	1, 204	4	30. 2	0.3	745	1,840	2, 585	11	28.8	0.4
11:00	458	775	1, 233	3	37. 1	0. 2	332	854	1, 186	4	28. 0	0.3	790	1,629	2, 419	7	32.7	0.3
12:00	583	842	1,425	9	40.9	0.6	393	786	1, 179	3	33. 3	0.3	976	1,628	2,604	12	37.5	0. 5
13:00	225	649	874	4	25. 7	0.5	268	649	917	5	29. 2	0.5	493	1, 298	1, 791	9	27.5	0.5
14:00	380	1,014	1, 394	2	27. 3	0.1	458	876	1, 334	2	34. 3	0.1	838	1,890	2, 728	4	30.7	0.1
15:00	475	1,062	1,537	1	30.9	0.1	288	1,002	1, 290	0	22. 3	0.0	763	2,064	2, 827	1	27.0	0.0
16:00	295	876	1, 171	1	25. 2	0.1	222	1,014	1, 236	0	18.0	0.0	517	1,890	2, 407	1	21.5	0.0
17:00	264	1, 320	1,584	0	16.7	0.0	330	1, 140	1, 470	0	22. 4	0.0	594	2,460	3, 054	0	19.4	0.0
8:00~ 18:00	3, 574	9, 905	13, 479	45	26. 5	0.3	3, 402	8, 953	12, 355	37	27. 5	0.3	6, 976	18, 858	25, 834	82	27. 0	0.3

交通量調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 2

調査日	時:半	成27年	11月20	H														
			国道20	6号方面					阪神高	速方面					合	計		
時刻	2	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	スエー 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	スエー 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	120	396	516	0	23.3	0.0	224	774	998	2	22. 4	0.2	344	1,170	1,514	2	22.7	0.1
09:00	156	468	624	0	25.0	0.0	294	594	888	0	33. 1	0.0	450	1,062	1,512	0	29.8	0.0
10:00	224	432	656	2	34. 1	0.3	177	600	777	3	22.8	0.4	401	1,032	1, 433	5	28.0	0.3
11:00	201	552	753	3	26.7	0.4	226	480	706	4	32.0	0.6	427	1,032	1, 459	7	29. 3	0.5
12:00	188	444	632	2	29.7	0.3	164	618	782	2	21.0	0.3	352	1,062	1, 414	4	24. 9	0.3
13:00	162	552	714	0	22.7	0.0	181	498	679	1	26. 7	0.1	343	1,050	1, 393	1	24.6	0.1
14:00	283	498	781	1	36. 2	0.1	152	648	800	2	19.0	0.3	435	1, 146	1,581	3	27. 5	0.2
15:00	193	582	775	1	24. 9	0.1	253	498	751	1	33. 7	0.1	446	1,080	1,526	2	29. 2	0.1
16:00	265	666	931	1	28. 5	0.1	162	444	606	0	26. 7	0.0	427	1, 110	1,537	1	27.8	0.1
17:00	180	756	936	0	19. 2	0.0	96	732	828	0	11.6	0.0	276	1, 488	1,764	0	15.6	0.0
8:00~ 18:00	1,972	5, 346	7, 318	10	26. 9	0.1	1, 929	5, 886	7, 815	15	24. 7	0.2	3, 901	11, 232	15, 133	25	25.8	0. 2

交通量調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 3

調査日時:平成27年11月20日

W-1 E. F.		221	和歌	山方面					大阪	方面					合	計		
時刻	3	を通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	306	870	1, 176	0	26. 0	0.0	188	1, 297	1, 485	3	12. 7	0.2	494	2, 167	2,661	3	18.6	0.1
09:00	356	918	1, 274	2	27.9	0. 2	284	949	1, 233	3	23.0	0.2	640	1,867	2, 507	5	25. 5	0.2
10:00	294	692	986	2	29.8	0. 2	337	818	1, 155	3	29. 2	0.3	631	1,510	2, 141	5	29. 5	0.2
11:00	380	674	1,054	4	36. 1	0.4	276	619	895	1	30.8	0.1	656	1, 293	1, 949	5	33. 7	0.3
12:00	343	733	1,076	2	31.9	0. 2	300	438	738	0	40.7	0.0	643	1, 171	1,814	2	35. 4	0.1
13:00	300	716	1,016	2	29.5	0. 2	192	540	732	0	26. 2	0.0	492	1,256	1, 748	2	28. 1	0.1
14:00	348	679	1,027	1	33.9	0.1	331	595	926	2	35. 7	0.2	679	1,274	1, 953	3	34.8	0.2
15:00	271	708	979	1	27.7	0.1	216	649	865	1	25.0	0.1	487	1,357	1,844	2	26. 4	0.1
16:00	228	906	1, 134	0	20.1	0.0	264	685	949	1	27.8	0.1	492	1,591	2,083	1	23.6	0.0
17:00	294	1, 590	1,884	0	15. 6	0.0	174	1, 182	1, 356	0	12.8	0.0	468	2,772	3, 240	0	14. 4	0.0
8:00~ 18:00	3, 120	8, 486	11,606	14	26. 9	0. 1	2, 562	7, 772	10, 334	14	24. 8	0.1	5, 682	16, 258	21, 940	28	25. 9	0. 1

交通量調査結果(堺基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. 4

調査日時: 平成27年11月20日

<u> 調 </u>	<u></u>	以21十	11月40	Н														
		7	フェニッ	クス方	面				堺	方面					合	計		
時刻	3	2通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	况至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	八玉平 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	17	10	27	21	63.0	77.8	0	0	0	0	-	-	17	10	27	21	63. 0	77.8
09:00	19	8	27	27	70.4	100.0	35	17	52	46	67.3	88.5	54	25	79	73	68. 4	92. 4
10:00	19	7	26	26	73. 1	100.0	18	7	25	25	72.0	100.0	37	14	51	51	72. 5	100.0
11:00	18	7	25	25	72.0	100.0	16	8	24	24	66. 7	100.0	34	15	49	49	69. 4	100.0
12:00	16	5	21	21	76. 2	100.0	13	4	17	17	76. 5	100.0	29	9	38	38	76. 3	100.0
13:00	20	4	24	24	83. 3	100.0	22	3	25	25	88.0	100.0	42	7	49	49	85. 7	100.0
14:00	11	3	14	14	78.6	100.0	13	5	18	18	72. 2	100.0	24	8	32	32	75.0	100.0
15:00	11	4	15	15	73.3	100.0	12	4	16	16	75. 0	100.0	23	8	31	31	74. 2	100.0
16:00	1	7	8	2	13	25	3	7	10	4	30.0	40.0	4	14	18	6	22. 2	33. 3
17:00	-	-	1	-	-	ı	1	-	ı	1	1	-	ı	1	1	-	-	-
8:00~ 18:00	132	55	187	175	70.6	93.6	132	55	187	175	70.6	93.6	264	110	374	350	70.6	93. 6

注:堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点: No. A

調査日時:平成27年11月17日

H/M III. III	大阪方面							和歌山方面						合 計						
時刻	交通量 (台/時)					廃棄物					大型車	廃棄物					廃棄物			
	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	大型車 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至平 混入率 (%)		大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入 家	輸送車 混入率 (%)		
08:00	360	1, 440	1,800	0	20.0	0.0	229	1,020	1, 249	1	18.3	0.1	589	2,460	3, 049	1	19.3	0.0		
09:00	601	727	1, 328	8	45.3	0.6	247	998	1, 245	3	19.8	0.2	848	1,725	2, 573	11	33.0	0.4		
10:00	409	655	1,064	2	38. 4	0.2	285	890	1, 175	5	24. 3	0.4	694	1,545	2, 239	7	31.0	0.3		
11:00	469	672	1, 141	1	41.1	0.1	606	510	1, 116	6	54. 3	0.5	1,075	1, 182	2, 257	7	47.6	0.3		
12:00	397	836	1, 233	3	32. 2	0.2	531	535	1,066	4	49.8	0.4	928	1,371	2, 299	7	40.4	0.3		
13:00	217	602	819	3	26. 5	0.4	360	655	1,015	1	35. 5	0.1	577	1,257	1,834	4	31.5	0.2		
14:00	435	488	923	5	47. 1	0.5	450	678	1, 128	0	39. 9	0.0	885	1,166	2,051	5	43. 1	0.2		
15:00	441	732	1, 173	3	37. 6	0.3	540	768	1, 308	0	41.3	0.0	981	1,500	2, 481	3	39. 5	0.1		
16:00	366	780	1, 146	0	31. 9	0.0	402	960	1, 362	0	29. 5	0.0	768	1,740	2, 508	0	30.6	0.0		
17:00	258	900	1, 158	0	22. 3	0.0	288	1, 104	1, 392	0	20.7	0.0	546	2,004	2, 550	0	21.4	0.0		
8:00~ 18:00	3, 953	7, 832	11, 785	25	33. 5	0.2	3, 938	8, 118	12,056	20	32. 7	0.2	7, 891	15, 950	23, 841	45	33. 1	0.2		

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点:No.B

調查日時:平成27年11月17日

調査日時: 平成27年11月17日																			
	泉北方面							助松JCT方面						合 計					
時刻	交通量(台/時) 大型車 廃棄物						交通量(台/時)				大型車	廃棄物	交通量(台/時)				大型車	廃棄物	
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	訲	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)	
08:00	150	216	366	0	41.0	0.0	206	522	728	2	28.3	0.3	356	738	1,094	2	32. 5	0.2	
09:00	140	234	374	2	37. 4	0.5	332	240	572	2	58.0	0.3	472	474	946	4	49.9	0.4	
10:00	157	175	332	2	47.3	0.6	332	164	496	4	66. 9	0.8	489	339	828	6	59. 1	0.7	
11:00	253	140	393	3	64.4	0.8	360	216	576	0	62.5	0.0	613	356	969	3	63. 3	0.3	
12:00	187	228	415	1	45. 1	0. 2	151	205	356	2	42.4	0.6	338	433	771	3	43.8	0.4	
13:00	171	210	381	3	44. 9	0.8	98	210	308	2	31.8	0.6	269	420	689	5	39. 0	0.7	
14:00	247	237	484	4	51.0	0.8	176	169	345	3	51.0	0.9	423	406	829	7	51.0	0.8	
15:00	109	241	350	2	31.1	0.6	271	192	463	1	58. 5	0.2	380	433	813	3	46. 7	0.4	
16:00	108	265	373	1	29.0	0.3	241	204	445	1	54. 2	0.2	349	469	818	2	42.7	0.2	
17:00	78	312	390	0	20.0	0.0	234	192	426	0	54.9	0.0	312	504	816	0	38. 2	0.0	
8:00~ 18:00	1,600	2, 258	3, 858	18	41.5	0.5	2, 401	2, 314	4, 715	17	50.9	0.4	4,001	4, 572	8, 573	35	46. 7	0.4	

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年11月分]

調査地点: No.C

調査日時:平成27年11月17日

W-1	フェニックス方面							泉大津方面						合 計					
時刻	交通量(台/時)				大型車	廃棄物	交通量(台/時)				廃棄物	交通量(台/時)				大型車	廃棄物		
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	訲	廃棄物 輸送車	混入率 親刀		大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	連 7 家	輸送車 混入率 (%)	
08:00	30	66	96	6	31. 3	6. 3	2	30	32	2	6. 3	6. 3	32	96	128	8	25. 0	6.3	
09:00	40	95	135	27	29.6	20.0	82	73	155	29	52. 9	18. 7	122	168	290	56	42. 1	19. 3	
10:00	45	39	84	12	53.6	14. 3	104	71	175	13	59. 4	7.4	149	110	259	25	57. 5	9.7	
11:00	87	99	186	18	46.8	9. 7	50	52	102	24	49.0	23. 5	137	151	288	42	47.6	14. 6	
12:00	14	55	69	3	20.3	4. 3	32	96	128	2	25.0	1.6	46	151	197	5	23. 4	2.5	
13:00	83	66	149	29	55.7	19. 5	67	69	136	22	49.3	16. 2	150	135	285	51	52.6	17. 9	
14:00	55	26	81	15	67.9	18.5	61	75	136	16	44. 9	11.8	116	101	217	31	53.5	14. 3	
15:00	30	38	68	20	44. 1	29.4	52	42	94	22	55.3	23. 4	82	80	162	42	50.6	25.9	
16:00	18	18	36	0	50.0	0.0	36	120	156	0	23. 1	0.0	54	138	192	0	28. 1	0.0	
17:00	18	6	24	0	75. 0	0.0	24	108	132	0	18. 2	0.0	42	114	156	0	26. 9	0.0	
8:00~ 18:00	420	508	928	130	45.3	14.0	510	736	1, 246	130	40. 9	10. 4	930	1, 244	2, 174	260	42.8	12.0	